

葛飾総合高等学校 令和2年度 教科：公民 科目：現代社会 年間授業計画

教科：公民 科目：現代社会 単位数：2単位

対象学年組：第1学年（A組～F組）

教科担当者：A組～F組：永井 幸大 ㊞

使用教科書：最新現代社会 新訂版（実教出版）

使用教材：最新現代社会2020（第一学習社）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	青年期と自己の形成 「青年期とは」 「自己形成の課題」 (自宅学習)	・青年期の特徴について述べた心理学者及び哲学者の思想を理解する。 ・これまでの自分を振り返り、成人になるまでの課題を把握する。 ・現代社会の青年が抱える問題を、アイデンティティの拡散やアパシー、ピーターパン・シンドロームといった具体例から考察する。	定期考査 提出物（課題）	6
5月	青年期と自己の形成 「職業生活と社会参加」 「キャリアデザイナー」 「こんにちの労働問題」 (自宅学習)	・働くことの意義について考え、自らの職業選択へ思索を深める ・「自己実現の欲求（マズロー）」をテーマとし、自己のキャリアを作り出すためにいかなる学問を探究すべきか、いかなる目標を設定するか、自分自身を振り返る。 ・今日の社会を取り巻く労働問題について考え、基本的なワークルールに対する理解を深める。	定期考査 提出物（課題）	7
6月	現代社会における諸課題 「地球環境問題」 「資源・エネルギー問題」 (自宅学習)	・地球温暖化の原因、対策、課題について、基礎となる京都議定書やパリ協定といった国際的協議を理解しつつ、思考実験「共有地の悲劇」を活用して考えを深める。 ・資源、エネルギー問題の原因、対策、課題について、火力発電や原子力発電を例に、環境問題や安全面の課題に触れながら理解を深める。 ・環境問題に関わる簡易的なポスターを作成し、多様な表現方法をもってこれからの社会を展望する。	定期考査 提出物 授業態度	6
7月	現代社会における諸課題 「人間の生死と生命科学」 「高度情報化社会」 「情報倫理」	・科学技術の発展に伴う生命倫理や情報倫理をめぐる現代的課題を理解し、リテラシーを身に着ける。 ・スマートフォンやタブレット端末の普及がこんにちの社会にどのような影響を及ぼしたのか考える。	定期考査 提出物 授業態度	4

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月	現代社会における諸課題 「人工知能の発達」 「科学と人間」	・人工知能の発達に伴う諸課題を考察し、科学と人間の関係性に対する思索を深める。 ・「人間とは何か」という倫理的な問題を、様々な視点から考察する。	定期考査 提出物 授業態度	3
9月	国際社会と人類の課題 「グローバル化」	・グローバル化とはどのような現象で、地域にどのような影響を与えるのかについて考える。 ・多文化共生の考え方について理解し、現代において多文化社会が与える影響を考え、その課題を深く考察する。	定期考査 提出物 授業態度	6
10月	民主社会と倫理 「哲学と人間」 「他者の尊重」	・個人を尊重する社会の在り方について、歴史を追いながら理解する。 ・エスノセントリズムや文化相対主義、オリエンタリズムといった文化に関わる思想を理解し、差別や偏見をどう克服していくのか、考えを深める。	定期考査 提出物 授業態度	8
11月	民主社会と倫理 「宗教と人間」	・現代社会における宗教の基本的な考え方、及び宗教的諸問題を理解し、宗教的寛容について思索を深める。 ・現代日本における宗教観について『宗教年鑑』（文化庁）から考察し、宗教的な考え方について理解を深める。	定期考査 提出物 授業態度	6

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	民主社会と倫理 「世界宗教の姿」	・キリスト教、仏教、イスラームの基本的な考え方について理解する。 ・世界宗教と民族宗教の違いについて考える。 ・人間と宗教の関係性を深く考察し、「なぜ宗教はあるのか」自分の言葉で表現する。	定期考査 提出物 授業態度	9
1 月	現代の民主政治 「民主政治の基本原則」	・民主政治の基本的理念について理解を深める。 ・現代の国際政治について理解を深める。	定期考査 提出物 授業態度	8
2 月	現代の経済社会 「財政の役割、租税の意義」	・財政の機能や租税の意義と原則について理解を深め、平等性と、公正な社会について考えを深める。 ・日本における税の種類について理解し、所得税や消費税等の基本的なものについては、国民全体でどのように（比率等の問題）負担すべきか考え、理解を深める。	定期考査 提出物 授業態度	8
3 月	1年間のまとめ	・問題演習、学年末考査を通し、学習内容の総復習をする。	定期考査 提出物 授業態度	2